

施工段階		躯体工事		4	設備工事： 打込電線管	シート番号 4-1			
電気	空調	衛生	その他						
○	-	-	-						

ポイント

■スラブ埋込み配管

電気設備工事監理指針によると

- ・埋込む電線管の径は28mm以下かつスラブ厚の1/4以下とし、交差は極力減らします。
- ・平行する配筋との間隔は30mm以上、並列して配管する場合も管相互の間隔を30mm以上とします。

■壁埋込み配管

- ・外壁や住居区画壁には原則打込まないようにします。
- ・電線管内での接続はNGです。接続が必要な場合はジャンクションボックスを設けます。

先輩アドバイス

- ・設計図の特記仕様書を確認しましょう。
- ・開口部周り・PS部分・屋上スラブ・重量機器周りなどは、コンクリートのひび割れの発生の可能性があります。

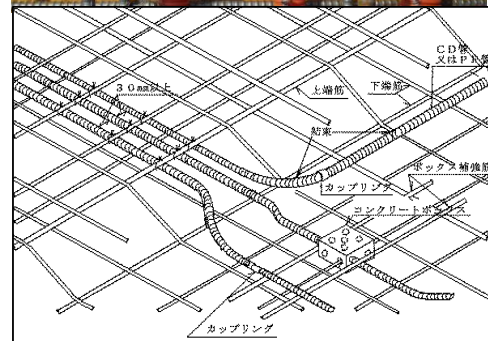
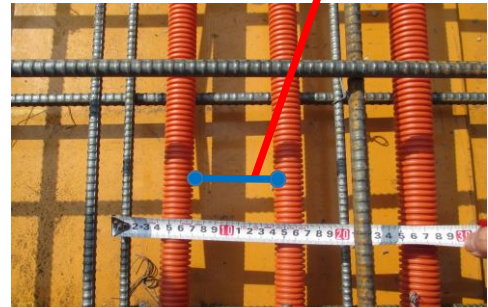
チェック項目

- 特記仕様書の確認はしましたか。
- 配管ルート・交差の事前確認は行いましたか。
- 配管を避けるべき場所は確認しましたか。
- コンクリート打設前にかぶり厚さが確保されているか確認しましたか。

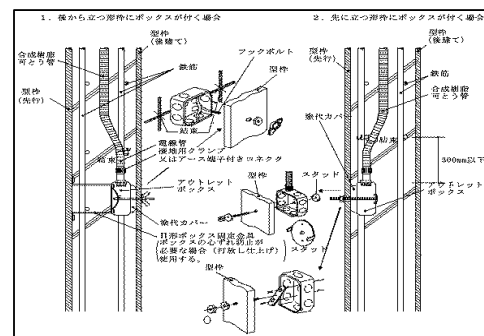
失敗すると...

- ・コンクリートのかぶり厚さ不足によるクラック、防耐火性能低下、強度不足等の問題が起こる可能性があります。

管相互間隔30mm以上



スラブ打込み 合成樹脂管



壁打込み 合成樹脂管

共通管理項目	合理化省力化	施工性向上	品質・性能向上	工期短縮・圧縮	コスト削減(材料)	コスト削減(労務)	設備先行工事	工事区分見直し	責任所在明確化
	-	-	○	-	-	-	-	-	-
備考	参考文献：						制定	2019年3月1日	
	参考メーカー：						改訂	2023年3月1日	